タ組合法案ヲ来ルベキ議会ニ提出スルトノ事デアルガ該案ニ對シ
「政府ハ大正八年ノ内務省案ノ労働組合法案ヲ根據トシテツクツ
説明者平井（大阪）

◎労働法制ニ関スル件（理事会提案）

ヲツタト答ヘタ。

ソレハ毎日ノ記者ガ早合點ヲシテ所ノ如ク報道シタノダト云ツテ
ノ良否ヲ永井部長ガ各署長ニ詰問シタノデアツテソンナ事ハナイ
ノ諸ニヨレバ現在労働運動ヲ取締ル幾多ノ法令ガアルガ其ノ法令
ハ調査ヲシタカト質問シタノニ對シテ平井（大阪）ハ特高ノ人ハ
徹底的ニ取締ルトノ事デアルガソレハ事實デアルカ否カヲ政府當局
鍋山ハ毎日新聞ニ依レバ今度大阪府ハ府令ヲ出シテ我々ノ運動ヲ
シテ、平井ハ既成政黨ニハ入ル者ハ絶對ニナイトハツキリ答ヘタ
或ル代議員ガ組合員ガ既成政黨ニハイレバ如何ト質問シタノニ對
申合セタ」云ハト説明シタ

テ中央委員及ビ政治部員ハ對策ヲ講ジタ、一体我々ガ政府ニコウシテクレト云ッテモ政府ハ決シテ我々ノ云フ事ヲ聞カナイガ政府ハ資本家ノ云フ事ナラスグニ聞キ入レルノデアル、先ニ政府ハ工場法改正案ニ對シテ紡績聯合會ニ諮問シタ事ガアル、其際該聯合會ハ我々ノ不利益ニナル様ナ事ヲ答申シタ該會ハ労働組合法案ニ對シテモ又何カノ運動ヲヤツテヰルトノ事デアル、資本家ハ労働法ニ對シテハ猛然ニ運動スルノデアル、我々ヲシバル法律ヲ資本家共ニ自由ニサレテハ大變デアルカラ我々モ相當ニ政府ニ對シテ運動ヲセナケレバナラヌ、全力ヲ盡シテ少シデモ我々ニ有利ナ法ヲツクル様ニシタイ、ソレガ爲ニ提案シタノデアツテ運動方法ノ具体案ガナイガ中央委員及ビ本部ノ政治委員ガ決定シタ労働組合合法案ニ對スル希望ハ次ノ如クニナツテヰル

一、目的ヲ制限セザルコト
二、既設組合ヲ認ムルコト

財團法人協調會大阪支所